

難工事予想、短距離のA案か国道253沿いのB案か

上沼道安塚-松代間整備方針(案)

24日に開催された大島区地域協議会の冒頭、上越魚沼地域振興快速道路（安塚-松代間）に係る事業説明会について県の担当者から報告がありました。

県では、①国道403号付近を通過し、安塚IC-松代間を短く結ぶA案、②国道253号付近を通過し、現道にアクセスしやすいB案、の2つの案を検討中であり、今後、地区説明会、アンケート調査の意見を参考に引き続き検討していくとのこと。

A案はカーブが少なくゆるやかで短距離となりますが、工事区間の多くが泥岩（ほくほく線工事で大変だった）地帯を通ります。一方、B案は国道253号線に近いので、253号線との接続が良く、部分的、段階的に早く供用できます。ただ、騒音など家屋への影響が懸念されるということです。

この日の大島区地域協議会では、「速達性に優れる」「難工事が予想される須川層（泥岩）」などの説明文はもっとわかりやすくしてほしい、との意見が委員から出ていました。



今年も新井柿崎線を視察、新たな要望箇所も

県道新井柿崎線整備促進議員連盟は20日、関係住民から要望が出ている場所の視察を行いました。これには公務で欠席の楡井県議以外の4県議や上越地域整備部の幹部職員も同行しました。

猛暑のなかでしたが、板倉区の側溝設置要望箇所からスタートし、頸城区の上増田の交差点(交差点改良要望箇所)まで約3時間、見てま

わりました。高和町の道路拡幅、青野十文字付近の歩道整備など大きく進んでいるところを見るとうれしいですね。

新井柿崎線の視察は毎年、この時期に行っていますが、新たな要望も出てきます。今回注目した要望の1つは「高和橋の段差解消」です。ここについては地元町内会長や近くの会社関係者も出て説明してくださり、強い揺れ、荷として積んでいる砂利のこぼれ等の対策要望が出されました。

現場を確認し、関係者からも話を聴き、行政とも協議したのですが、県の担当者からは、「道路の成り立ちなどから判断すると、単なる段差解消というよりも、全体として大きな改良が必要かもしれない」という発言も出ていました。こういう認識の発展は貴重です。イラストは高和橋の近くでの調査の様子です。

県道新井柿崎線整備促進議員連盟では今後、県庁に直接出向いて、土木部長との交渉もする予定です。



【ゴマ】ゴマ科の一年草。漢字で「胡麻」と書きます。草丈は1mほどになります。干ばつに強く、雨には弱い。日本では栽培はわずかで、使用されるゴマの99%は輸入に頼っています。花期は8月。白い花を咲かせます。花言葉は「たくましく生きる」。7月25日、吉川区代石にて撮影しました。



はしづめ法一の活動レポート

No.2120 2023.7.30

発行編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず

Tel 025-548-3628

通じないときは 090-5392-1961

E-mail hasiznyg_0808@yahoo.co.jp

URL <https://www.hose1.jp/>



ブログ
「ホーセの見
てある記」は
← こちら

橋爪法一

検索

春よ来い

第七六七回 最高の誉め言葉

この夏一番とも思える暑い日のことでした。高田で昼食をとった私は、キエさんのところに電話をかけたお邪魔してききました。

キエさんは現在、市内岩木在住です。大島区板山の「杉」(屋号)に住んでいた頃はほぼ毎週訪ねていましたので、四か月も会わないでいると心配になります。

「キエさんは馬鹿書いねえ」そう言って部屋に入ると、キエさんはすでにベッドから体を起こし、私を待っていました。猛暑の外と違って、クーラーのきいた部屋はじつに涼しくて気持ちよく、生き返った感じがしました。

数日前、キエさんのところに電話を入れた際、私は「新しい本でできたすけ、近いうちに届けに行くよ」と約束していました。

「これ、新しい本」そう言って渡すと、キエさんは表紙のイラストをじつじつと見せて、「また、楽しみながら見させてもらうことで、前の本、はい、読むとこ無くなったし……」と言いました。

健二さんや詩歩さんなどを描いた本の表紙の話が終わり、キエさん宅の軒先での「へびとカエル」のことを書いたエッセイ探しが一段落したところで、キエさんは、「おまんたバチャの写真、前に見せてもらったこと」と言いました。そのタイミングで私は、待っていましたとばかりに、スマートフォンを取り出しました。

じつはひと月ほど前、スマートフォンに保存されている写真を操作していた拍子に、牛乳缶を干している場所に腰かけている母の写真が映し出され、その後、母の別の写真が次々と続いたのです。音楽が流れるなか、映し出された写真は、母の山菜採りの時の姿や「タツ」のそばの電動椅子に座ってゼンマイ入りの袋を見ている姿など二〇枚ほどありました。

それを見た時、「こりゃ、杉の力チャに見てもらおう」と思っていたのです。これ

らの写真は私が編集したものではなく、スマートフォンが持っている機能で自動的に編集されたものでした。

母の写真のなかには、母が何かをしゃべっていて、それを見た者がこたえたくならないような動画もあります。亡くなる数日前のものもありました。キエさんはそれらをしっかりと見て、「いいもんだねえ」と言って喜んでくれました。

その後、大島区竹平の母の実家(屋号は「のうの」)の話になりました。

私から「おかげさんで、新しく『のうの』の家に入ったしよは、家の中、きれいにしてくんなったみてだし、ありがたいわね」と言った時、「のうの」の好子さんのことを思い出しました。ちょうど好子さんからのラインを見ていたのです。

それでテレビ電話に切り替えました。そしてスマートフォンの画面をキエさんに向けて、「まあ、杉の力チャだねー、健康そうで、いい顔しているな」という好子さんの声が聞こえてきました。

それから二人の話は弾みました。「こっちは暑いし、犬の散歩の時は、犬はハダシだすけ、散歩は八時過ぎになるがでね」「自分で動かれりゃ、百まで生きたいでも……」などといった会話が聞こえてきました。とても楽しそうでした。

キエさんのところへお邪魔した時間は約二〇分でした。お茶飲みを終えて、立ち上がる時、「こんで、しばらく、本、出さないだろうし……」と言ったら、キエさんは、「まあ、そんなこと言わんでくんない。おれは、新しい本ができるまで生きてるすけ」と言いました。

前回訪ねた時も、キエさんは、「足、鍛えて、もう一度板山へ行こうと思ってさ」と言い、とても前向きでした。今回は最高の誉め言葉で私を励ましてくれました。「杉の力チャ」は本当にすごい人です。

柿崎ドームで6回目のワクチン接種

22日、新型コロナウイルスの6回目の接種を受けてきました。私はいつも集団接種会場に行くようにしていますが、この日の柿崎ドーム会場は実にスムーズでした。20分弱で終わりました。

前回とくらべ、会場の景色は一変。マイナンバーカードおすすめの「のぼり旗」は1本もなく、担当の市職員もいませんでした。やはり、いまの状況では行政も勧めにくいの

でしょう。紙の健康保険証は絶対なくさないでほしいものです。



上越地域各消防署における空間放射線量率測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	7月19日(水)	7月26日(水)
上越南消防署	0.050	0.057
上越北消防署	0.043	0.040
新井消防署	0.043	0.047
頸北消防署	0.050	0.057
頸南消防署	0.060	0.067
東頸消防署	0.047	0.047
名立分遣所	0.050	0.053
高士分遣所	0.050	0.050

「リビングセンターくらべ」さん
直江津の三八市などの朝市で日用雑貨の販売をされています。寒い冬でも暑い日でも必ず見かける頑張り屋さんです。



春よ来い

第七六七回 最高の誉め言葉

この夏一番とも思える暑い日のことでした。高田で昼食をとった私は、キエさんのところに電話をかけたお邪魔してききました。

キエさんは現在、市内岩木在住です。大島区板山の「杉」(屋号)に住んでいた頃はほぼ毎週訪ねていましたので、四か月も会わないでいると心配になります。

「キエさんは馬鹿書いねえ」そう言って部屋に入ると、キエさんはすでにベッドから体を起こし、私を待っていました。猛暑の外と違って、クーラーのきいた部屋はじつに涼しくて気持ちよく、生き返った感じがしました。

数日前、キエさんのところに電話を入れた際、私は「新しい本できました、近いうちに届けに行くよ」と約束していました。

「これ、新しい本」そう言って渡すと、キエさんは表紙のイラストをじつじつと見せて、「また、楽しみながら見させてもらって、前の本、はい、読むとこ無くなったし……」と言いました。

健二さんや詩歩さんなどを描いた本の表紙の話が終わり、キエさん宅の軒先での「へびとカエル」のことを書いたエッセイ探しが一段落したところで、キエさんは、「おまんたバチャの写真、前に見せてもらったこと」と言いました。そのタイミングで私は、待っていましたとばかりに、スマートフォンを取り出しました。

じつはひと月ほど前、スマートフォンに保存されている写真を操作していた拍子に、牛乳缶を干している場所に腰かけている母の写真が映し出され、その後、母の別の写真が次々と続いたのです。音楽が流れるなか、映し出された写真は、母の山菜採りの時の姿や「タツ」のそばの電動椅子に座ってゼンマイ入りの袋を見ている姿など二〇枚ほどありました。

それを見た時、「こりゃ、杉のカチャに見てもらおう」と思っていたのです。これ

らの写真は私が編集したのではなく、スマートフォンが持っている機能で自動的に編集されたものでした。

母の写真のなかには、母が何かをしゃべっていて、それを見た者がこたえたくならないような動画もあります。亡くなる数日前のものもありました。キエさんはそれらをしっかりと見て、「いいもんだねえ」と言って喜んでくれました。

その後、大島区竹平の母の実家(屋号は「のうの」)の話になりました。

私から「おかげさんで、新しく『のうの』の家に入ったしよは、家の中、きれいにしてくんなったみてだし、ありがたいわね」と言った時、「のうの」の好子さんのことを思い出しました。ちょうど好子さんからのラインを見ていたのです。

それでテレビ電話に切り替えました。そしてスマートフォンの画面をキエさんに向けて、「まあ、杉のカチャだねー、健康そうで、いい顔しているな」という好子さんの声が聞こえてきました。

それから二人の話は弾みました。「こっちは暑いし、犬の散歩の時は、犬はハダシだすけ、散歩は八時過ぎになるがでね」「自分で動かれりゃ、百まで生きたいでも……」などといった会話が聞こえてきました。とても楽しそうでした。

キエさんのところへお邪魔した時間は約二〇分でした。お茶飲みを終えて、立ち上がる時、「こんで、しばらく、本、出さないだろうし……」と言ったら、キエさんは、「まあ、そんなこと言わんでくんない。おれは、新しい本ができるまで生きてるすけ」と言いました。

前回訪ねた時も、キエさんは、「足、鍛えて、もう一度板山へ行こうと思ってさ」と言い、とても前向きでした。今回は最高の誉め言葉で私を励ましてくれました。「杉のカチャ」は本当にすごい人です。

柿崎ドームで6回目のワクチン接種

22日、新型コロナウイルスの6回目の接種を受けてきました。私はいつも集団接種会場に行くようにしていますが、この日の柿崎ドーム会場は実にスムーズでした。20分弱で終わりました。

前回とくらべ、会場の景色は一変。マイナンバーカードおすすめの「のぼり旗」は1本もなく、担当の市職員もいませんでした。やはり、いまの状況では行政も勧めにくいの

でしょう。紙の健康保険証は絶対なくさないでほしいものです。



上越地域各消防署における空間放射線量率測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	7月19日(水)	7月26日(水)
上越南消防署	0.050	0.057
上越北消防署	0.043	0.040
新井消防署	0.043	0.047
頸北消防署	0.050	0.057
頸南消防署	0.060	0.067
東頸消防署	0.047	0.047
名立分遣所	0.050	0.053
高士分遣所	0.050	0.050

新八幡橋、6日から通行可能

3年ほど前から始まっていた吉川区山口と河沢をつなぐ八幡橋の架け替え工事(事業費約8億円)はこのほど完了しました。橋は8月6日午後1時から通行可能となります。よかったですね。

